

[2015]九州大学情報統括本部年報 : 2015年度

<http://hdl.handle.net/2324/2198495>

出版情報 : 九州大学情報統括本部年報. 2015, pp.1-. 九州大学情報統括本部
バージョン : published
権利関係 :



第13章 図書館連携事業

13.1 図書館システム支援

(1) システム更新に向けた調整

平成29年12月の図書館システム更新に向けて、現在のシステム及び情報インフラの課題・問題点を整理し、調整を図りました。

(2) 学務及び人事データとの連携の調整

認証基盤事業室と調整し、以下の連携データの仕様変更に伴う対応を支援しました。

- 学務データの仕様変更（平成27年9月）
- 学生用SSO-KIDへの完全移行（平成28年3月）

(3) 可用性及びセキュリティ確保のための調整

ネットワーク事業室と連携し、以下の事項への対応を支援しました。

- 学外から図書館Webサイトへの一時的なアクセス障害（平成27年4月）
- 全学ファイアウォールでの学外からのネットワーク一部通信制限（平成27年8月）

(4) 図書館の移転に伴う環境整備の支援

- ネットワーク事業室と連携し、伊都地区に建設中の新中央図書館について、ネットワーク環境の整備の調整を図りました。
- 伊都地区への資料移転作業を図書館職員が効率的に行えるよう、中央図書館の書庫の作業区域に図書館システムへ接続可能なネットワーク環境を整備することを支援しました。

13.2 電子コンテンツサービス支援

(1) Shibboleth 認証サービスの安定運用

Shibboleth（学認）による電子コンテンツへのリモートアクセスについて、附属図書館及び認証基盤事業室と連携して対応しました。主な事項は以下の通りです。

- 利用者からの要望や障害報告への対応
- 図書館SPの脆弱性対応やソフトウェアアップデート
- 新規SP接続設定（6件）：Emerald Insight, Wiley Online Library, Nature Publishing Group, Palgrave Macmillan, ebrary, ProQuest
- 学生用SSO-KID完全移行（平成28年3月）対応のための調整
平成27年度、学術情報系の主要SPについて、本学構成員のShibboleth認証によるログイン回数は参考資料1の表1のとおりとなりました。
（参考資料1, 表1）

(2) リモートアクセスサービスの提供

リモートアクセス可能な電子コンテンツについて15件の追加および変更作業を行いました。平成27年度、EZproxyによるリモートアクセス件数は参考資料1の図1のとおりとなりました。(参考資料1, 図1)

(3) 不正利用への対応

電子ジャーナルの不正利用等による出版社からのアクセス停止措置が4件発生しました。これらについて、支線LAN管理者を通じて調査した利用状況を出版社へ報告し、アクセス制限の解除を行いました。

(4) ウェブ文献管理ツールの提供

平成26年度に引き続きウェブ文献管理ツールRefWorksを提供し、平成27年度は参考資料1図2のとおり利用がありました。

RefWorksを含めた文献管理ツールの活用法について、参考資料1表2のとおり、箱崎、伊都、病院、筑紫地区で計72回、文献管理ツールに関する講習会を附属図書館との連携により実施し、延べ383名の参加者を集めました。

本学での研究及び学習行動に合った次世代文献管理ツールの提供方法について検討を行うため、RefWorksの最新バージョンFLOW、およびRefWorksを提供中止にした場合の代替ツールについて調査を行いました。

(参考資料1, 表2・図2)

13.3 機関リポジトリ支援

(1) ジャパンリンクセンター(JaLC)準会員への申請が承認され、機関リポジトリコンテンツへのDOI(Digital Object Identifier)登録を開始しました。

(2) 平成26年度に引き続き、機関リポジトリと大学評価情報システムの今後の連携仕様について、大学評価情報室との意見交換を実施しました。

13.4 図書館での教育支援

(1) 附属図書館が部局とともに実施した新入留学生向け図書館ガイダンスで、学生用SSO-KIDの有効化、kitenet/edunetの接続、全学基本メールの転送など情報サービスの設定補助を行いました。

(2) 図書館学習サポーターと連携し、図書館内での教育情報サービスに関する学生向けの相談サービスを実施しました。平成27年度の箱崎、伊都、病院地区における附属図書館への情報統括本部提供サービス関連の問合せのうち、179件を図書館学習サポーターが対応しました。

(3) 平成29年2月に撤去が予定される教育情報システム端末(iMac)の代替サービスとして用途に応じた端末機器の選定や契約データベースの利用環境、印刷環境等の検討を行いました。

各種統計

表 1 : 平成 27 年度 学術情報系の主要 SP Shibboleth 認証ログイン回数

SP 名	ログイン回数
CiNii	6,708
Web of Science (Thomson Reuters)	3,797
Science Direct (Elsevier)	3,047
RefWorks	1,786
医中誌 Web	1,581
JapanKnowledge	825
Wiley Online Library	782
ProQuest	224
研究社オンライン・ディクショナリー	205
ebrary	180

表 2 : 平成 27 年度 文献管理ツールに関する講習会開催実績

地区	回数	参加者数
箱崎	28 回	107 名
伊都	15 回	119 名
病院	23 回	133 名
大橋	2 回	10 名
筑紫	4 回	14 名

図 1 : 平成 27 年度 EZproxy 利用統計

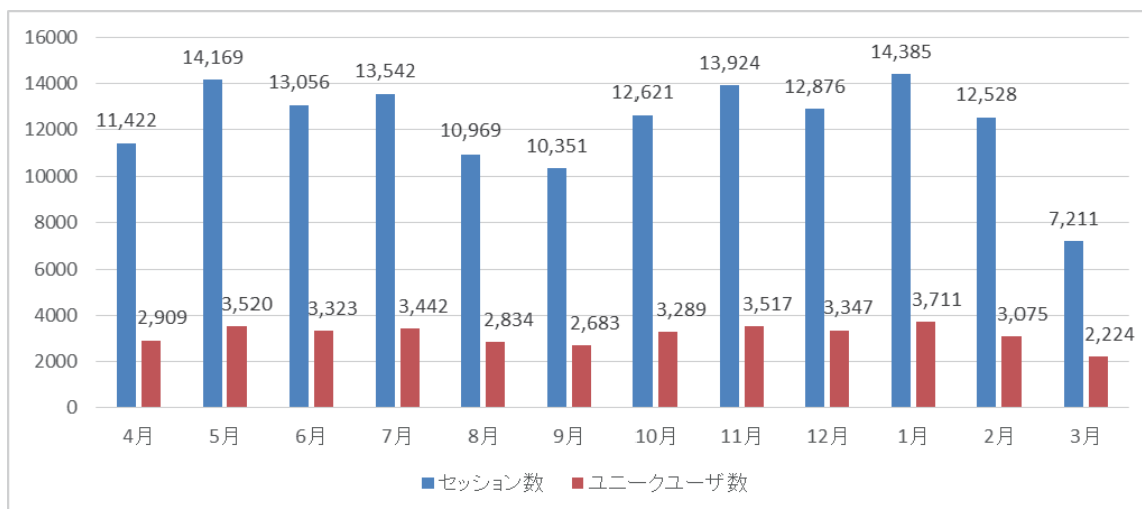


図2：平成27年度 RefWorks 利用統計

